

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月1日

事業所名 重症心身児童発達支援 ToiToi

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	7	<ul style="list-style-type: none"> 個人の医療物品や持ち物が多い為、カゴなどを使用し整理していく事で空間を確保する 子どもの担当分けを行い、間隔をあけスペースを保つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時々、物が多く片付いていない時があるので、片付けを細めに行い、スペースを作る。→人数に応じて、フローを分ける。当日のリーダーが俯瞰で現場を見るようにし整理整頓を心がける。 定員は適切であるが、おもちゃ、チェア、子ども達の荷物などを広げると少し狭い気がする。 整理整頓。不要なものは捨てる。 人数が多い時は、部屋を分
	2	職員の配置数は適切である	8	1		新規求人を採用し、看護師・保育士の補充を行った
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	8	<ul style="list-style-type: none"> 物が多い為、子ども達の活動に合わせて空間確保に努めている。 遊びの空間、学びの場をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> →現建物の老朽化もあり新社屋を建設予定である。また、賃貸の物件も引き続き探し中で、安心してすごす事のできる環境作りに努めている。 色々工夫しているが、マットとマットの段差や、ベランダから室内への段差、未就学児が抱っこじゃないと手が届かない手洗い場など、まだまだバリアフリーではない所があって、整理整頓を心がけないと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	6		年間行事を作成し、季節に合った飾りつけや製作を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		<ul style="list-style-type: none"> 参加しているスタッフはしているが、まだ全員が参加できていない気がする。役割をふって児発管が促していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		自己評価アンケートや、今回第三者評価を受けた事で改善点を活かしていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9			今回、沖縄県社会福祉士会の第三者評価を受けることとなっている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			医療的ケア児の特性に則した計画を多職種で立案する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			多職種で行っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			保育士を中心に立案している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		シフト制のため全員集まったのミーティングができていない。情報伝達ツールを活用し情報伝達を行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4		翌朝のミーティング、ジャンディで共有するようにしているが、抜けることがたまにある為、検討が必要。 時間は変則で全員集まったのミーティングができていない。情報伝達ツールを活用し情報伝達を行っている。 ・シフト制のため、JANDI(SNS)を
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			でも、支援記録の内容にはばらつきがある。記録を書く人は限られている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9				
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			看護師や保育士等、児童に合わせた職員で構成していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9			自立支援協議会や各関係機関との密な連携を模索していく。 職員間に周知が必要。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9			主治医の意見書や、救急ケース登録の活用を活用していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		関係機関との情報共有として、送迎の引継ぎ時には1日の流れや健康チェックなどを行っている	各学校の特別教育コーディネーターや看護師との情報交換を密に行う
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5	コロナ感染予防のため、中止や延期が多いが地域の保育園を対策を取り屋外での交流を行った(ハロウィン	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		・今、コロナ禍で出来ていないが、以前、交流会等に参加。 ・管理者が会議に出席しているが、職員にたいして周知がされていないので、SNSやミーティングによる周知が必要。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		LINEによる情報提供を活用していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			・配慮されていると思う。 ・フルネーム記入ではなく、1字抜きにしている事。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			・言葉選び、語尾など、注意するよう努力している。 ・言葉1つ1つ、気をつけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5		コロナ禍ではあるが規模を縮小したり感染に注意しながらハロウィンイベントなどを地域の保育園の子ども達と行った ・地域への行事の参加を行っている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		・定期的に勉強会を開き訓練を行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		年に2回の避難訓練(火事・地震)、定期的にBLS学習会を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9			・十分に行っていると思うが、その場になると、どうしても混乱してしまうこともある。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			「指示書」があつての事ではないので今後、検討が必要
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			適切な対応はとっていると思うが、「研修機会」となると分らない。 研修を受けたスタッフが他の職員に勉強会などを行い周知に努めている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			可能な限り、「拘束をしない」努力を全員が行っていることは素晴らしい。拘束が必要な場合も手順を踏んでいると思う。「依頼書」を作成し、保護者にしっかりご説明してからの対応としている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

重症心身児童発達支援 ToiToi

保護者等数(児童数) 3 回収数 3 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2		1		・確保されていると思う ・仕切りがない空間で全体が見渡せるので子供達にとっても良いスペースだと思う。	定員5名ではあるが施設基準10人程度のスペースは維持している。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3				・職員の数も多く看護師さんや保育士さんの知識も豊富だと思います。 ・十分なスタッフ数と思われるので安心して預けることができる	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2		1		・入口やお風呂・トイレ等バリアフリーになっており快適な設備だと思います。	複数の職員で子どもの状態を把握できるようにパルスオキシメーターのモニターを整備。点滴台など室内の整備を行った。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2		1		毎日、お迎えの際にきれいに清掃しているのを目にします。とても衛生的だと思います。 ・迎えに行った時に、きれいにされている。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3				・私達でも気づかない事を色々提案してくださり、気づかされています。 ・こちらのニーズをしっかり汲み取り児童発達支援計画を作成してくれている	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3				・支援内容は必要な項目が適切にあり発達支援・家族支援において家庭環境も考え支援してくれているので、とても助かっており、感謝しています。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3				・連絡帳より日々の活動が細かく見え、計画に沿って支援がなされていると思う ・計画通りの支援です	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3				・日々、様々な工夫がされ、とても嬉しく思う ・毎回、発達状況に応じて計画されていると感じます。 ・色々な場所に行っているし、園でのイベントも多いようです。	その日の天気や気温、利用児童の人数や体調にあわせ、プログラムを組んでいる
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2		1		・定期的に地域の保育園等と交流があります。	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3				・始めに丁寧な説明がありました。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3				・支援内容計画も細かく作成されており、説明も充分にあります。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2		1		・通所での様子を送迎時に口頭で説明してくれ、ノートにも細かく記載してくれている。 ・動作法など知らなかったトレーニングを教えて頂き取り入れていきます。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の研修・学習会を企画する。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3				・連絡帳に日々細かくスケジュールの記載があり、伝達ができていると思う。 ・子どもの健康や発達状況をよく観察してくれています。 ・日記に詳細に1日の出	チラシや月々お知らせを作成配布、玄関に掲示し行事や事業所の紹介を行う
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3				・お迎えの際など、日々、気づいた事を教えてくれ、色々提案して頂いています。	送迎時にこまめなコミュニケーション、情報共有をとることを心掛ける
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			1	2	・コロナ禍で集まりやイベントが無かったので、コロナが落ち着いたら、そういう機会があったら良いと思う。 ・コロナ禍なので、今は難しいですが、これまでは毎年開催されていました。 ・コロナの影響で、保護者会は少ないように思	コロナ安定後積極的に、再開していきたい。 参加がなかなかできない方もいるので定期的に講習会やイベントを行い、内容や時間を考慮していく。今年度は感染症対策をしながらクリスマス会を開催することができた
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2	1			・迅速に対応できていると思う ・相談した時の対応が速い ・いつも、申し入れや要望に対して、迅速で臨機応変に対応して頂き	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3				・常に申し送りや情報伝達があり、その日の様子を確認できいま	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	1			・毎月のお便り、Facebook等で達成できていると思う。毎月楽しみにしています。 ・支援活動だけでなく、季節に合った行事レクリエーションも沢山行われ、毎月のおたよりでも様子が楽しくて良いです。 ・毎月、園だよりで色々	毎月のお知らせや、SNSにて活動の写真や情報をアップしていきます
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	3				・されていると思います。	カルテや個人情報に関わる物は鍵のかかる棚に収納する。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3				・色々な訓練はなされていると思う ・緊急時の避難場所等の周知や発生時の訓練も実施されているのがFB等で見る事ができ安心しています。	各マニュアルをHPに掲載し、誰でも見られるようにする。行った訓練などは、毎月のお知らせやSNSなどにアップし周知を促していく
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			1	・災害用伝言ダイヤル(171)等の周知もありました。 ・避難訓練の様子が園だよりに記載されました。	年2回、避難訓練を行っている。また、適宜、事例検討・CPR訓練を行っている。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	2	1			・コロナ禍で長期にお休みをしていた時、子供も通所通いをとても楽しみにしているんだと実感しました。 ・とても楽しみにしており、いつも表情良く帰宅するので、充実している	
	23 事業所の支援に満足している	3				・事業所がないと家族の生活も成り立たず日々感謝です。 ・とても感謝しています。いつも助けられ大変満足しています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 重症心身 児童発達支援 ToiToi

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	3	・限られたスペース・物品でケアしている為整理整頓を心掛ける。	→フロアーで分けるようにしている。 部屋を分けて行っている。 現在、新社屋を建築中。
	2 職員の配置数は適切である	7	2			・子ども人数にあわせて、1人1人対応できている。 人員配置基準を上回る配置を行っている。 医療ケアや重介助が重なる為に更に看護師、保育士を配置した。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	2		・一般の住宅や店舗を利用しているの、いたしかたないと思う。 ・段差があり、バギーの乗り降りが大変。 ・床の段差は少ないが、利用者の荷物が乱雑になりがちなので、整理整頓を心がけます。 現在、新社屋を建築中。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	1		・目標設定はなされているが、振り返りはあまりなされていない為、時間を作る。 ・連絡ノートの活用やミーティングの場を更に強化していく必要がある
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		1	・朝のミーティング等で情報交換を行い保護者の意向や状況を確認している。	・出来る範囲で努めていると思う。 保護者へのアンケートなどの実施を行っていることを、職員にも周知していく必要がある。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1			HPに掲載予定。職員間で周知が徹底していない。今後改善が必要。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9				沖縄県社会福祉士会による第三者評価を現在受けている最中である。審査を受け業務改善につなげていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			事業所内での講習会、勉強会や伝達研修等で研修の機会を作っている。	・機会は確保されても、日常業務におわれ、十分には実施されないことが多い。 ・いろんな面で、たくさんの研修がある。 ・情報伝達ツールで研修のお知らせを既読しています。 定期的な研修と研修休暇の制度を確保している。再度、周知していく必要がある。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			担当制を取り入れ 児発管を中心に各担当者が意見交換・情報交換し支援計画を作成するようにしている。	・今後は栄養(摂食・嚥下)の面での分析・考察が増えると良いのではと思う。 ・情報収集、情報共有しているところです。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		無回答:1	・職員間で周知が徹底していない今後改善が必要。 ・アセスメントツールは使用しているが、利用開始時しか出来ていないので、本人にあつていない時がある。都度、更新していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9				・「保育士」さんがチームで頑張っている。他の職種が立案に加わることは少ないので多職種で行っていく。(実施の際には全員で協力している。) ・立案する時間を作る。 ・保育士さん・指導員さんが頑張ってくれています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	3	ナース・指導員・保育士がそれぞれ役割を活かし関わっている	・手作りでとても工夫していると思う。 全職員で更に工夫を行えるように考えていく必要がある。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	利用児童の体調、天気、気候に合わせてその都度調整している	・平日は良いが、長期休暇の場合などは慌ててしまうこともありプログラム設定が必要。 ・夏まつり、プラネタリウム、誕生会、制作 ・長期休暇の時には、普段できない調理や、遠出を行っている。(外出)	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3		・時間的・人的な制限のため、「個別の活動」は少ないかもしれない。 ・集団あそび、お散歩、おやつ作り	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	朝のミーティングで確認し合うようにしている。	・出勤時間がギリギリなこともあり、確保出来ないことも多い気がする。 ・わからない事や不安な事は、他スタッフに確認しながら行っている状況です。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5	1	保護者への連絡帳記入時に職員間で支援の確認を行い、意見交換するなど情報を共有している。	・翌朝のミーティングや情報伝達ツールを用いて、共有する。 ・打ち合わせに参加出来ているスタッフと出来ていないスタッフがいるため、ミーティングを持って周知を行っていく。 ・翌日に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		・保護者からの口頭連絡や処置の細かな数値などがあいまいになることがある。 ・自分で気になる表現や、統一された名称など確認しながら記録する。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			・「モニタリング時間＝見直し」とルーティンになっているか検討。 ・これから理解を深め、ケアに活かしていきたいです。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1		無回答:1	・これから理解を深め、ケアに活かしていきたいです。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1			・勤務調整も行いながら、そうなるよう努力はしていると思う。 ・これから理解を深め、ケアに活かしていきたいです。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9				・年度始まりに学校説明会に参加。また、その都度、学校や保護者に確認している ・急遽下校時間の変更など“紙”に残っていないことは、今後の改善点がある。こまめな連携が必要。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9				・連絡体制が整っているかは分からないが、実際その都度、主治医と連絡をとるとなると、主治医側の負担や他事業所との兼ね合いなど、色々気になる
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9				移行支援時は、関係機関とカンファレンスを行っている。参加が行えていないスタッフに対して情報提供を確実に行う必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9				・これから理解を深め、ケアに活かしていきたいです。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		無回答:1	・装具や車イス、座位保持装置について情報を集めていく ・医療ケアネットワークや身体不自由児父母の会、沖縄こども在宅研究会、ていんさぐの会に加入しており定期的な講習や会議に参加している。スタッフの参加を強化していく必要がある。 ・療育医療センターで行っている訓練などを当事業所でも継続的にできるように訓練内容を動画におこし情報共有を図っている。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		4		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で外出を控えているが、感染症対策をしながら今年は地域の保育園とハロウィン交流を行えた。 ・状況をみながら今後も積極的に行っていきたい。 ・よく参加出来ている子と学校で参加出来ない子がいるが、交流の場はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1	無回答:1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者や児童発達管理責任者が参加しており、職員間にも積極的に参加の機会を作っていく必要がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9				<ul style="list-style-type: none"> ・これから理解を深め、ケアに活かしていきたいです。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・努力していると思う。しかし、相手が受け入れるかどうかの問題があると思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	4	無回答:1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでなかなかできない。 ・コロナ禍で出来ていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9				<ul style="list-style-type: none"> ・対応していると思う。自己判断せず、責任者をとおしている。 ・常に会議を持ち、みんなで話し合いを大切にしている。 ・プリセプターや他スタッフに助言をもらいながら対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお便りや、パスデーカードなど、とても努力していると思う。
	35	個人情報に十分注意している	9				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1			<ul style="list-style-type: none"> ・言葉選びや語尾には、かなり注意していると思う。 ・プリセプターや他スタッフに助言をもらいながら対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	5		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		1		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員がマニュアル作りに参加することは、マニュアルが「お飾り」にならなくて良いと思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		1		<ul style="list-style-type: none"> ・出勤のシフトによっては参加できないスタッフがいるので、大変だが全職員が参加するようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9				<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたスタッフが他の職員に勉強会などを行い周知に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9				<ul style="list-style-type: none"> ・可能なかぎり、「拘束をしない」努力を全員が行っていることが素晴らしい。拘束が必要な場合も、手順を踏んでいると思う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				<ul style="list-style-type: none"> ・対応はしているが、「医師の指示書に基づく」かどうかは分からない。 ・対応を行っている。職員間において周知していく必要がある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9				<ul style="list-style-type: none"> ・年に2・3回、「振り返り」があっても良いと思う。 ・事例集を作成し周知徹底につとめている

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 重症心身児童発達支援ToiToi

保護者等数(児童数) 10

回収数 10

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9		1		定員5名ではあるが施設基準10人程度のスペースは維持している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			新規求人採用。看護師・保育士を採用し人材育成を図った
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9		1		複数の職員で子どもの状態を把握できるようにモニターを整備しパルスオキシメーターを複数導入する。点滴台やパーテーションなど室内の整備を行った。現在、新社屋を建築中。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10				多職種で担当チーム制を導入し、計画立案を行っている
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10			・色々な活動があり、楽しそう。	個々の状態に合わせて、集団療育プログラムを合わせて行っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4	2	・コロナのため	今年度は、コロナの様子を見ながら屋外での活動(ハロウィンや舞台発表)に参加した
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10			・更新時に細かい説明があり、分かりやすかったです。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				送迎時などに積極的に情報交換ができるように努める。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	2	・コロナ禍であまり開催できず残念でした。 ・されていると思いますが、私が参加できていません。(母) ・コロナ禍で、保護者同士の交流がなかなか持てないのは残念。	感染状況をみながらクリスマス会を開催する事ができた。安定したら対策を徹底しつつ積極的に行っていきたい。また、屋外での舞台発表に参加。活動を周知することが出来た。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1			虐待防止委員会を開催し、周知に努める。 ヒアリハットを活用し、改善につとめる。
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		
	14	個人情報に十分注意しているか	10			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10			各マニュアルをHPに掲載し、誰でも見られるようにする。行った訓練などは、毎月のお知らせやSNSなどにアップし周知を促していく
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	・その所は、わかりません。スイマセン。	年2回の避難訓練を行っている。また、BLS研修、事例検討を行っている。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10			
	18	事業所の支援に満足しているか	10		・おむつなどの補充品は早めに教えてもらいたい。 ・素早い対応、支援に感謝しています。	物品の取り扱いについて職員間に周知徹底していく。補充物品の在庫を、当日リーダーがチェックして有無を確認する。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。